

クロアチア月報(2021 年 8 月)

在クロアチア日本国大使館

～主な動き～

【内政】

●「勝利と祖国感謝の日」記念式典が行われ、首相、大統領及び議会議長等が出席。(8/5)

【外政】

●ボスニア・ヘルツェゴビナから戦時中の司令官に対する訴追についての司法共助要請が接到。(8/7)

●アフガニスタン情勢の悪化を受け、政府は、駐アフガニスタンEU代表部で通訳や後方支援のために働いていたアフガニスタン国民のうち 20 名を、クロアチアに受け入れると発表。(8/18)

＜日・クロアチア関係＞

●ビオグラード・ナ・モル市で原爆犠牲者追悼式が開催された。(8/6)

●パラリンピック東京大会に向けた選手団壮行記者会見が行われる。(8/19)

【経済】

●IMF は、コロナ危機に対応すべく、国際的な流動性を促進するため、IMF 史上最大となる6,500億ドル相当の特別引出権(SDR)の全加盟国への配分を承認。クロアチアは、€8億2800万相当が割り当てられる。(8/2)

●クロアチア政府観光局によると、7月の観光客数は 370 万人(前年比 47%増)、延べ宿泊者数は 2500 万人(同 33%増)。(8/10)

●クロアチア統計局によると、2021 年第2四半期の実質 GDP 成長率は前年比 16.1%増、季節調整済前期比 0.2%減。(8/27)

【内政】

8/5 「勝利と祖国感謝の日」記念式典が行われる

1991年から1995年まで続いたクロアチア紛争を実質的に終結させた「嵐」作戦の26周年等を兼ねた「勝利と祖国感謝の日」記念式典が、ボスニア・ヘルツェゴビナとの国境に近い街クニンにおいて開催された。3国家指導者(首相、大統領及び議会議長)が揃って出席したが、昨年初出席したミロシェビッチ副首相(セルビア系)は不参加だった。

8/19 シュコロ「祖国運動」初代党首が離党

ミロスラヴ・シュコロ「祖国運動」初代党首は、7/20 に党首辞意を表明していたが、8/19 になって離党表明を行った。先に離党表明していた複数議員を含め、同党所属議員は選挙直後の 16 名から 8 名に減り、第4党のMOSTと同数となった。

8/23 ブラック・リボン・デー関連式典が行われる

欧州における全体主義体制の犠牲者追悼の日(ブラック・リボン・デー)に際し、ザグレブ市内のミロゴイ墓地、ゴリ・オトク(旧ユーゴ時代の収容所跡)、マツェリ(第二次世界大戦後の処刑場跡)、で追悼式典が行われ、それぞれ閣僚が出席した。

8/25 グルボリ及びプラブノで紛争中のセルビア系民間時犠牲者追悼式が行われる

90年代の紛争中にセルビア系民間人が犠牲となったグルボリ及びプラブノにおいて犠牲者追悼式が行われ、ミロシェビッチ副首相(セルビア系)、プポバツ独立民主セルビア党党首、マッティッチ・セルビア大統領特使等が出席した。前年出席した、ミラノビッチ大統領、メドベド副首相兼退役軍人相は出席しなかった。

8/26 キエボで紛争中の民間人犠牲者追悼式が行われる

30 年前の紛争中にクニン郊外のキエボで亡くなった民間人犠牲者を追悼する式典が行われ、ミラノビッチ大統領が出席した。

8/30 首相が復興法の改正に言及

プレンコビッチ首相は、震災後の復興を加速させるため、必要に応じて復興法を改正するとした。ホルバット建設・都市計画・国家資産相が法案改正に関し準備を命じられており、特に、被災建物の所有権に関する問題が復興プロセスの障害となっている。

8/30 国際失踪者デー記念行事が行われる

グリナ市で国際失踪者デー記念行事が行われ、プレンコビッチ首相等が参加した。グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、紛争中の行方不明者について真実を明らかにし、犯罪加害者を罰することが、セルビアとの関係の進展の前提条件であると述べた。プボバツ・セルビア民族評議会(SNV)代表は、ここ数年で紛争中の行方不明者捜索作業は減速しているとして、クロアチア・セルビア間の協力の必要性を訴えた。

【外政】

8/2・6 土・希の山火事消火支援に空軍機を派遣

国防省は、8/2に、トルコの山火事に際し空軍機1機と2名の乗組員を、8/6に、ギリシャの山火事に際しクロアチア空軍機1機と9名の乗組員を派遣した。

8/7 BHから戦時中の司令官に対する訴追についての司法共助要請が接到

法務省は、ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)の検察当局から、90 年代戦争中の「嵐」作戦におけるクロアチア軍司令官による戦争犯罪を追求する訴訟手続に関し、司法共助要請を受領したことを認め、要請はクロアチア検察当局(DORH)に送達され、DORH が対応を決定するとした。

8/18 政府はアフガニスタン国民20人の受入を発表

グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、アフガニスタン情勢の悪化を受け、駐アフガニスタンEU代表部で通

訳や後方支援のために働いていたアフガニスタン国民のうち 20 名を、クロアチアに受け入れると発表。また、同相は、8/17 までに、アフガニスタンに在住していたクロアチア国民 26 名全員が退避済みであると述べた。

8/22・23 首相がウクライナを訪問

プレンコビッチ首相はウクライナを訪問し、ゼレンスキー大統領及びシュミハリ首相と会談を行うとともに、23 日に行われたクリミア・プラットフォーム(首脳会合)に出席。会合において、同首相は、「クリミアはウクライナである」旨述べるとともに、占領下領土の平和的な返還に関するクロアチアの知見共有の可能性や、クルク島 LNG ターミナルの使用を含むエネルギー協力の可能性について言及した。

8/25 外相がハンガリーを訪問

グルリッチ＝ラドマン外務欧州相がハンガリーを訪問し、シーヤールト＝ハンガリー外相と会談。クルク島 LNG ターミナルを含む二国間経済関係、アフガン情勢、移民問題について議論した。

8/26・27 大使会議が開催され、ブレア元英首相が講演

各国に駐在するクロアチア大使等の集まる大使会議が開催され、プレンコビッチ首相やブレア元英首相が講演を行った。

< 日・クロアチア関係 >

8/6 ビオグラード・ナ・モル市で原爆犠牲者追悼式

ビオグラード・ナ・モル市内に設置された折鶴像の前にて、キャンドルを浮かべて犠牲者を追悼する「灯籠流し」が行われ、クネズ同市市長、嘉治大使等が参加した。

8/19 パラリンピック東京大会に向けた選手団壮行記者会見が行われる

プーラ市の円形闘技場で、パラリンピック東京大会に向けた選手団壮行記者会見が行われ、パラリンピック選手のほか、コバチッチ・クロアチア・パラリンピック委員会会長、パビッチ観光・スポーツ省大臣顧問、ヨバノビッチ大統領スポーツコミッショナー、ゾリッチ・プーラ市

長、土谷トヨタ・アドリア社長をはじめスポンサー代表者
が出席。嘉治大使も出席し、選手団に激励の言葉を述
べた。クロアチアからは、22名の選手が過去最多となる
計8競技にメダルを懸けて出場。

【経済】

8/2 IMF が \$ 6,500 億相当の SDR 配分を承認

国際通貨基金(IMF)は、コロナ危機に対応すべく、国
際的な流動性を促進するため、IMF 史上最大となる
\$ 6,500 億相当特別引出権(SDR)の全加盟国への配
分を承認した。この配分は8月23日に発効。クロアチア
は、6億 8760 万 SDR(€8億2800万相当)が割り当てら
れた。

8/10 7月の観光客数は前年比 47%増加

クロアチア政府観光局(HTZ)は、7月の観光客数は
370 万人であり、延べ宿泊者数は 2500 万人と発表した。
昨年7月と比較すると、観光客数は 47%増加、延べ宿
泊者数は 33%増加した。コロナ危機前の 2019 年7月と
比較すると、観光客数は 20%減、延べ宿泊者数は
19%減であった。

8/12 5G通信サービスの運用が開始される

3大テレコム企業のHT、A1及びTelemachは、5G運
用のライセンスを付与され、HT及びA1は、8/12 から5
Gを使用した通信サービスの提供を開始し、Telemac
hはオシエク市において先ずサービスを開始すると発
表。

8/14 銀行口座を凍結された国民が 4.8%増

金融サービス公社(Fina)によると、2021 年 7 月末現
在、銀行口座を凍結された国民の数は昨年末と比較
して 11042 人増(4.8%増)の 242686 人であった。負債
総額(元本)は、HRK179.2 億(約€23.9 億)であり、昨年
末よりHRK9.6 億(約€1.3 億)多い。当地主要紙の1つは、
多額の政府支援にもかかわらず、コロナ危機は、多くの
国民の生活を困難にしたと結論付けることができると
報じた。

8/16 7月のCPIは、2013 年4月以降最大の増加率

クロアチア統計局によると、2021 年 7 月の消費者物価

指数(CPI)は、前年比 2.8%増であった。これは、同
3.3%増を記録した 2013 年4月以降最大の増加率であ
る。今年4月以降、CPIは、前年を2%以上上回り、4月
及び5月はともに同 2.1%増、6月は同 2.0%増であった。
7月のCPIの内訳をみると、自動車燃料等の交通関係
が前年比 9.3%増、たばこやアルコール類が同 5.7%増、
レストランや宿泊が同 3.9%増、食品及びノンアルコー
ル飲料が同 1.9%増、住宅関連が同 1.9%増であった。

8/17 財務省証券を発行、HRK9.83 億で売却

発行された財務省証券は満期 1 年、金利は 0.01%。

8/18 復興・強靱化計画前払金は9月又は遅くとも 10 月に送金

マリッチ財務相は、EUより€63 億の助成金が割り当て
られている復興・強靱化計画について、その 13%相当
の前払金は、今年の9月又は遅くとも 10 月に支払われ
るだろうと述べた。また、同計画に基づく改革の履行
状況に応じて、半年ごとに助成金が分割送金されるこ
とになっており、クロアチアが来年末までに予定通り計
画を実施すれば、€63 億の 46%が 2023 年半ばまでに
支払われると述べた。

8/26 ブコバル港の民営化プロセスが始まる

国家資産管理を行う再建・販売センター(CERP)は、
ブコバル港の民営化プロセスを開始した。専門家によ
る価格評価を経て、本年末または来年初頭に競争入
札が行われる見込み。

8/27 2021 年第2四半期 GDP は前年比 16.1%増

クロアチア統計局によると、2021 年第2四半期の実質
GDP 成長率は前年比 16.1%増、季節調整済前期比
0.2%減となった。プレンコビッチ首相は、「この結果はク
ロアチア経済が予想より早く回復しており、政府が危機
に強力に対応し経済の安定を確保していることを裏付
けている。クロアチアがコロナ危機前より多くの雇用者を
抱えているという事実は、私たちが雇用維持から雇用
創出に切り替えたことを証明している。健康と経済のバ
ランスを図るクロアチアのアプローチが効果的であった
ことは、予想を超える観光シーズンの結果からも明らか
である。」と述べた。

8/27 今年の就職者は10%が正規、90%が非正規

当地主要紙の1つは、今年の就職者数の10%が正規雇用、90%が有期雇用であると報じた。クロアチアでは、過去約20年間、有期雇用契約に基づく大量採用と、それに続く解雇が常態化している。2019年と2020年には、年間約12万人の労働者が有期雇用されており、恐らく同じ雇用主と複数回雇用契約を結んでいる者がいる。2015年以来、国は、若者を正規雇用する事業者へ5年間の免税措置を付与しているが、これは、新規雇用契約に占める有期雇用契約の割合を95%から90%に引き下げているに過ぎず、有期雇用の問題の複雑さを示している。

8/30 8月の景況感指数は7月から1.4ポイント上昇

EU統計局(Eurostat)によると、2021年8月のクロアチアの景況感指数は、7月から1.4ポイント上昇して112ポイントとなり、コロナ危機前となる2020年2月以来の高い水準となった。

8/31 業績良好な業界への政府支援削減の方向へ

アラドロビッチ労働大臣は、コロナ危機中、良好な業績を達成した業界に対する政府支援の削減及び支援を必要としている人々への措置の継続を予定していると発表。国は企業及び従業員に対しHRK120億(約€16億)以上の支援をしてきたが、17ヶ月間の政府の集中的な支援を受けていた人々の中には、経済状況の変化により、仕事を維持・継続できる人もいと述べた。同大臣によると、最も危険にさらされている業界は、スポーツ・文化イベント、旅行代理店、運輸セクターの一部などであった。

【新型コロナ】

8/12 国内一部地域がECDCリストで橙色指定

欧州疾病予防管理センター(ECDC)新型コロナウィルスの感染状況マップにおいて、クロアチアのザグレブ市及び沿岸部の一部が橙色に指定された。クロアチアの沿岸部は7月中旬から橙色指定となっているが、残りの国内地域は緑色。(同マップでは人口10万人当たりの直近2週間の新規感染者数と陽性率を基準に、濃赤:500人以上、赤:150-500人、橙:25-150人、緑:25人以下としている。)

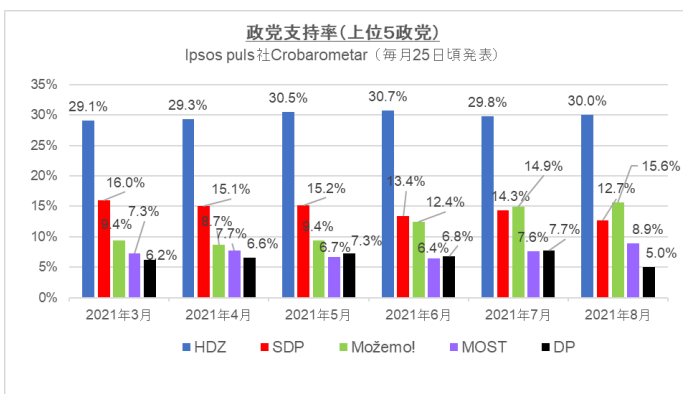
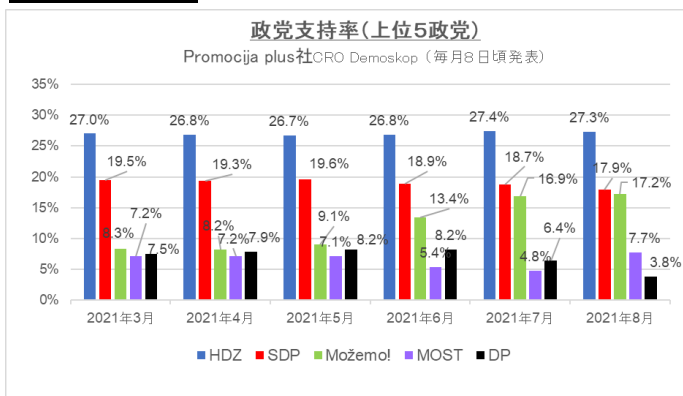
8/13 出入国制限及び国内措置が延長される

クロアチア市民保護本部決定により、8/15までとして実施されていた出入国制限措置及び国内措置は、修正なしに8/31まで延長された。

8/31 出入国制限及び国内措置が延長される

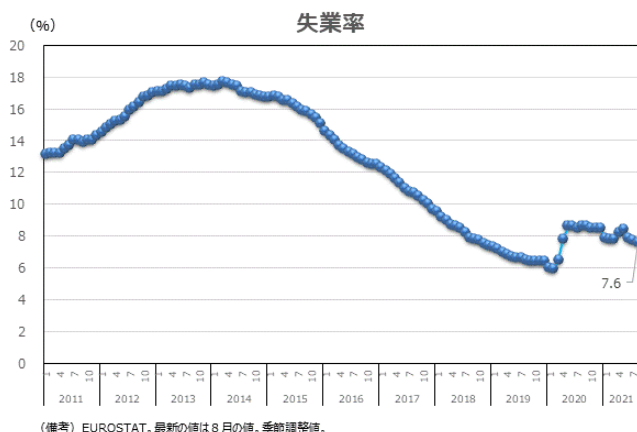
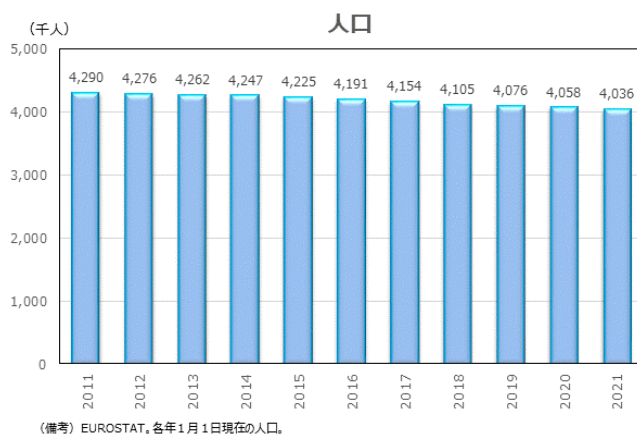
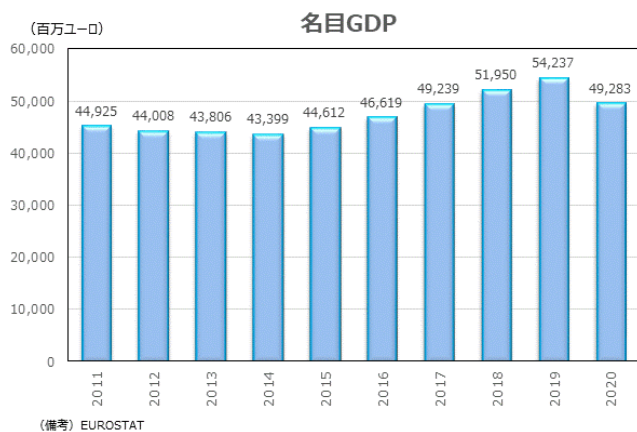
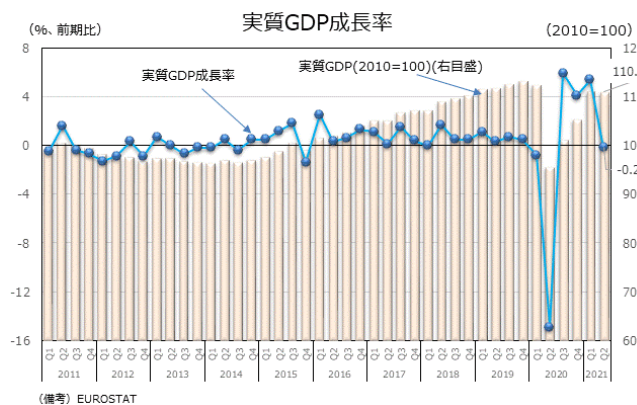
クロアチア市民保護本部決定により、8/31までとして実施されていた出入国制限措置及び国内措置が9/15まで延長された。飲食施設における屋内でのサービス提供は料理やデザートを提供する施設に限るとした制限が廃止されたほか、EUデジタルCOVID証明書の所持による制限緩和の対象が一部拡大された。

【政党支持率】

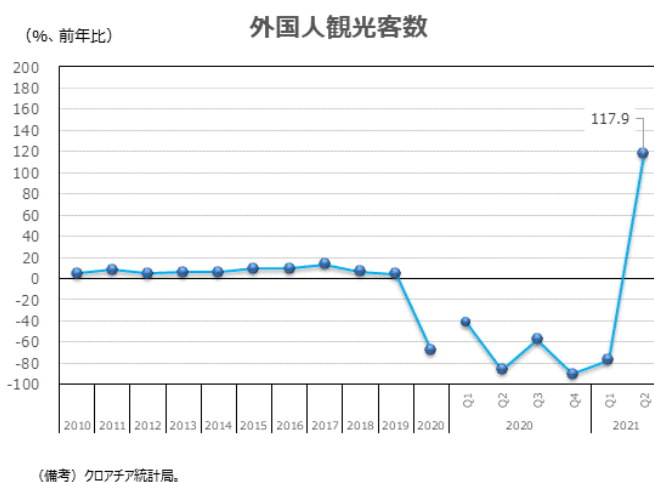
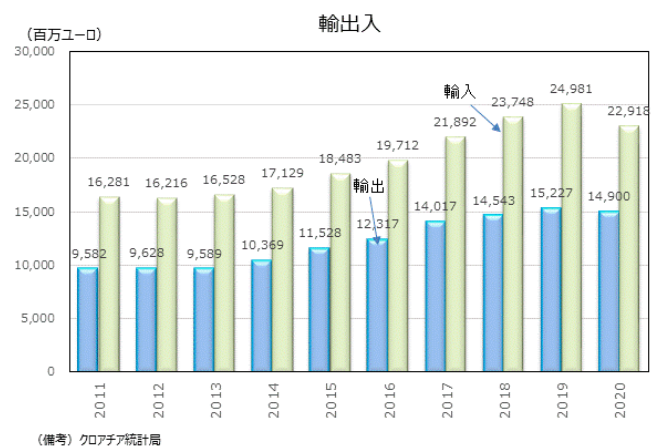
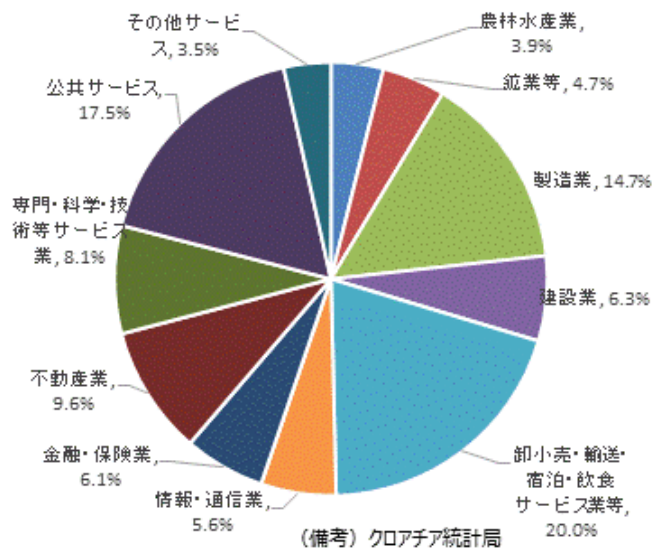


HDZ: クロアチア民主同盟(与党)(中道右派)、SDP: 社会民主党(野党)(中道左派)、MOŽEMO!: 我々ならできる!(野党)(中道左派)、MOST: 独立議員リスト(野党)(右派)、DP: 祖國運動(野党)(右派)

【クロアチア経済指標】



産業別GDP (2020年)



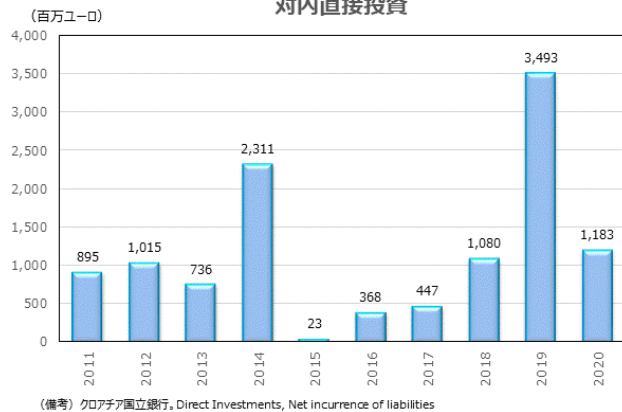
信用格付け (Credit rating of the Republic of Croatia)

Fitch Ratings			Moody's			Standard & Poor's		
Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook
2019.4.2	BBB-	Stable	2020.11.13	Ba1	Stable	2019.3.25	BBB-	Stable
2019.6.10	BBB-	Positive	2019.4.29	Ba2	Positive	2018.9.24	BB+	Positive
2018.7.9	BB+	Positive	2017.3.13	Ba2	Stable	2018.3.26	BB+	Stable
2018.1.15	BB+	Stable	2016.3.14	Ba2	Negative	2017.9.25	BB	Positive
2017.1.30	BB	Stable	2014.3.24	Ba1	Negative	2016.12.19	BB	Stable
2015.8.3	BB	Negative	2013.2.1	Ba1	Stable	2015.7.20	BB	Negative
2014.8.11	BB	Stable	2012.5.31	Baa3	Negative	2014.1.24	BB	Stable
2014.2.14	BB+	Negative	2008.11.19	Baa3	Stable	2013.8.2	BB+	Negative
2013.9.20	BB+	Stable	2007.7.18	Baa3	Positive	2012.12.14	BB+	Stable
2012.11.29	BBB-	Negative	2002.1.14	Baa3	Stable	2010.12.21	BBB-	Negative

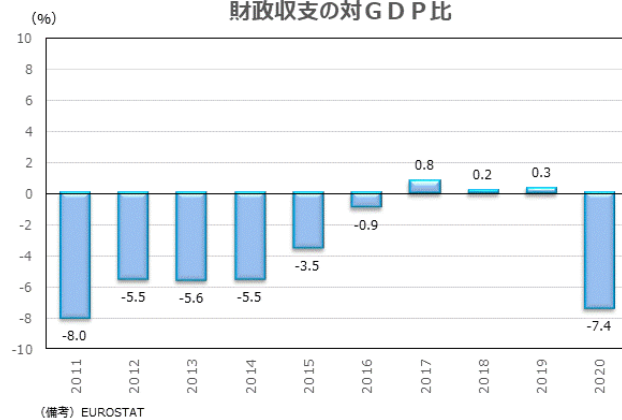
(備考) クロアチア国立銀行。Long Term Issuer Rating for Foreign Currency.

(本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、また、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。)

対内直接投資



財政収支の対GDP比



政府債務残高の対GDP比

